

令和5年度下期「ひょうご子ども・若者応援団」一般助成事業成果報告

事業期間 令和5年10月～令和6年3月

写真掲載については許可を頂いた団体のみ掲載しております

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
1	北河原子ども会 (阪神北)	<p>①いもほり大会・やきいも大会 ②さつまいもの存在状態を知る。その上で親子力を合わせて掘り出す。そのいも達を食す。 ③自然体験が出来た。子どもの楽しそうにしている姿を見て、親も満足。親子三世代での参加家族もあり、微笑ましい光景。</p> 
2	劇団アルティスタ (西播磨)	<p>①夢が詰まったお菓子の家 ②今年は「夢が詰まったお菓子の家」と題して、デザイン画、クラフト作品、デザイン書道の3部門から作品募集をした。想像力に富んだ夢が詰まった作品を審査したのは、パティシエ、教育者、あみぐるみ作家、デザイン書家、表現者など。デザイン画部門21点の中から金賞2点、銀賞4点、銅賞6点、特別賞(パティシエが本物のお菓子にする)、クラフト部門12点、デザイン書道16点からは、各金賞1点、銀賞2点、銅賞3点ずつを選んだ。それ以外の作品にもオリジナル賞を決めて贈呈した。展覧会は実行委員が企画・運営し、赤穂市立図書館ギャラリーにおいて開催した。 ③3年目ということもあり、市民の中に(特に子どものいる家庭には)かなり定着した感触があった。絵画、デザイン、工作、粘土、物語づくり等、子どもたちは自由な発想で、夏休み期間に時間をかけて、丁寧に創造していたことがわかる。応募していない子どもたちは、作品展を見て夢があふれた作品に共感したり、プロ作家の作品を見て驚いたり喜んだりしている様子がうかがえた。興味や関心をもったり、持続力、集中力なども養えるきっかけになると感じた。</p> 

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
3	伊丹バスケットボール協会 (阪神北)	<p>①ITAMI 3×3 バスケ・フェス2023</p> <p>②伊丹の中心街・三軒寺前広場に3人制バスケットボールコートを設置し、小学生3チーム、中学生3チーム、高校生以上6チーム(4名/チーム)を募集。50歳以上、女性にはハンディを設け、勝敗より交流や親睦を重視し、ジェンダーや世代を超えたイベントとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単なるスポーツイベントに留まらず、3人制バスケットボール大会と併せて、車いすバスケット体験会、DANCE SHOWCASE、プロチーム(EPIC.EXE)によるエキシビジョンマッチ、飲食店(伊丹57会)とのコラボレーションなど、実施運営の過程で青少年の健全な育成にも資するよう、関係各方面と協力し、「心がバリアフリーなまち」の推進やまちのにぎわいの創出を図った。 <p>③クラブ活動でバスケットボールを選んだ小・中・高校生の中には、進学を機に競技から離れたり、学校教育のクラブ活動を窮屈だと感じ、途中で競技を断念したりする若者も少なくない。そんな彼らはバスケットボールをやりたくてもできない環境にあることが多い。そのような中、体育館という閉ざされた空間ではなく、伊丹の中心街・三軒寺前広場で大会を開催することにより、そういった若者に再びバスケットボールに触れるきっかけを提供する場として定着し始めている。</p>
4	一般社団法人 いえしま自然体験協会 (中播磨)	<p>①坊勢児童館との交流事業</p> <p>②日常生活で手さばきの機会が減少している今、バルーンを使ってふくらます、むすぶ、ねじる、組み合わせなどの動作を行う。また、仲間と一緒に作るなどを通じてコミュニケーションの機会となり、出来上がった時の達成感を味わう。今回の申請により、一人ひとりが作成にチャレンジするのはもちろん、協力して大きなものを作成し、遊ぶ機会を作る。また、我々が一方的に指導するだけではなく、子どものアイデアを活かしたり、作りたいものを一緒に考えてチャレンジする。</p> <p>③参加した子どもたちは積極的にバルーン作成に取り組んでいた。コミュニケーションもよく取れていた。はじめは場になごめない子もいたが最終的には全体を巻き込みながら楽しむ環境が作れた。上手く作れずに落ち込む場面も度々見られたがアシスタントが数名いたため早期対応ができた。</p> <p>保護者からも「とても良かった」「また参加したい」など前向きな言葉をいただきました。事業目的であるバルーンを使った動作やコミュニケーションを取る機会を十分に作れていたと感じる。</p>

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
5	ひよどり台青少年育成協議会 (神戸)	<p>①ふれあい春の子どもまつり</p> <p>②春の1日を子どもから大人までが一緒に遊ぶお祭り行事。子ども達が主体にいろいろな遊びを考えて一緒に楽しめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども実行委員を募集し、行事の企画段階から参画を促し、学校、児童館などの全面的協力を得て、ゲームプログラムの立案・実施から用具の準備まで子ども実行委員が主体で担当した。今年度は先生たちの負担は極力かけないように工夫した。 青少協育成委員が大人実行委員として参画、応援・協力、アドバイスをを行った。 いろいろな遊びの内容は、危険がないこと、工夫を凝らすことも目的とした。 大きな子どもが小さな子どもにルールを教えたり、面倒をみることも大きな目的です。 <p>③コロナ禍がようやく明け、学校教員改革の嵐の中でしたが、難しい事案は、試行錯誤しながら子ども達と向きあった活動でした。地域の子も達同志の交流、大人との世代間交流ができたと思います。</p> <p>当日は途中で雨が降り、行事を途中で中断せざるを得なかったことが残念でしたが、ゲームの準備、中学校吹奏楽部の開演演奏、途中までのゲーム遊び、場所を変えての一部のゲーム遊びなど、状況に応じて、みんなが協力して適宜対処しながら活動が遂行できました。</p> <p>結果として、急な天候不順に対して、関係者全員の協力・交流が得られ、地域力を見ることができ、思い出深い行事になりました。</p> 
6	網干片岡庄屋塾 寺子屋教室 (中播磨)	<p>①網干片岡庄屋塾 寺子屋教室</p> <p>②2008年から寺子屋教室を継続しており、現在は常時ホームページとチラシ掲示で参加者を募集している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として、10月14日から3月23日の毎月第2、第4土曜日 9:30 から 11:00 まで 12 回程度寺子屋教室を行う。(参加費は通常月額 500 円だが、当補助期間は無料) 地域住民指導のもと 30 分間プリント学習を行い、その後は「さつま芋堀り」、「干し柿作り」、「折紙で雛作り」、「けん玉」など季節感のある作業や遊びを楽しむ。 具体的な実績は別添資料のとおり。 鍬を購入してさつま芋堀前後の整地等を新たな体験に加える。 地元消防団員から防火講習を受け消防車を見学する。

	<p>事業実施団体 (管轄地方青少年本部)</p>	<p>①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果</p>
		<p>③人生経験豊富な地域住民の手ほどきにより、子どもは日ごろ体験できない季節の作業(干し柿づくり、けん玉、芋掘り、あぶり出し等)や消防団のお話等を楽しみながら先人の知恵を学んだ。 ・子どもの親も、家では味わえない体験をさせてもらえるので貴重な機会でありがたいなどと高く評価している。</p>
<p>7</p>	<p>ITC-J カウンシル No.3 (阪神南)</p>	<p>①ITC-J カウンシル No.3 第13回高校生スピーチコンテスト ②ITC-J カウンシル No.3 の社会貢献の一環として毎年開催しており、今回で13回目となる。 ITC-J は教育機関であり、中でもスピーチの訓練は大事な柱である。長年培ってきたそのスキルを活かして、高校生に日英両語のスピーチの場を提供し、考える力、社会性の向上に役立て、共に学び、相互理解促進、世代交流を目的とする。 県下の公立高校、私学高校にスピーチコンテスト開催を告知し、出場者を募集した。日本語の部論題3つ、英語の部論題3つを与え、選んだ論題に即した題目を自分で決めて、あくまでも自分のスピーチ力で聴衆を引きつけた。日本語の部5名、英語の部6名が交互にスピーチを行い、日英ともに3名の審査員と、1名のスピーカーに対し、2名の評価者が評価書を作成し、後日学校に発送した。 日英ともに優勝者にはトロフィーと表彰状、準優勝者には表彰状を進呈した。 終了後、新聞社のインタビューを受ける体験をした。 ③ホテルの大広間でステージに立つ、という体験は高校生にとっては新鮮だったと思う。 これから社会人となって、様々な場所に入出してもものおじしないで堂々と振舞えることは大事。 引率の先生からも「貴重な体験をさせて頂きありがたかった」との言葉をいただいた。 年々レベルアップしていると、感じている。特に、英語の部の出場者はほとんどが海外経験者で、海外の事情にもよく通じている。それは聴衆者である我々にも大いに勉強になった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
8	特定非営利法人 You a Family Club 障害者・児 家庭自立支援 (神戸)	<p>①フットサル体験をみんなで楽しもう！盛り上げよう！</p> <p>②この法人は、障害者・児及びその家族に対して、教育や認知などの啓蒙に関する事業を行い障害者・児に対する自立支援に寄与することを目的とします。</p> <p>障害のある子ども・若者が、過去ワールドカップに出場経験のある現役選手に直接指導を受けながらフットサル体験を行う中で、成功体験を重ね、自己肯定感を高めると共に、自分以外の他人(コーチ、参加者等)に対するコミュニケーションを育み、またスポーツとそのルールを通して精神力や社会性を育むことが出来る経験に繋げる為の企画です。</p> <p>活動を行う一日を通して、参加者全員が何らかの形でリーダー役を行い、人前に立ち話す経験や、その場によって発する音量の違い等を体感する事を含めてスポーツを楽しみ、身体バランスや感覚統合などの体幹へのアプローチを同時に経験して頂きます。</p> <p>③団体主催の活動におきましては、全ての参加者様が何らかの障害を持っておられますが、彼らの一人一人が自ら情報を取り入れ・理解すること無しには自発的な活動参加にはならないと考えており、その第一歩として「見る」「聞く」を重要視しております。</p> <p>先ずは活動に参加する本人が、活動の中で何をして過ごすのかを知らなければなりません。そして自身の役割を自ら選択・決定します。視覚優位な人、聴覚優位な人、全ての参加者様が個に応じた支援を受けながら情報を得て、自分は何をするのか、どのように参加するのかを知った上で、意欲的且つ積極的に取り組めるように工夫いたしました。それらを知り、理解する事により、今回のフットサル体験の最大の目標：小さく・動きのあるボールを目で追い、隣人を意識しながら、チームの仲間と共に走ってボールを蹴り、時にはゴールを狙ってシュートを放つという目標を達成することが出来ました。</p> <p>障害を持つ子ども達は日々常にサポートを受けておられる事から、支援者が彼等の代わりに意思決定をしてしまう場面が少なくありません。支援を受け続ける立場の彼らは、遠慮や習慣から自己選択・自己決定という彼らの大切な権利を自ら放棄してしまう場面も数多く見受けられます。その様な彼らにとって自らの意志で終日活動をする経験はとても貴重で、何より自身の意思や気持ちを伝えて良いのだということを学び、実行し、成功体験を積み重ねる事で自信を持ち、自己肯定感を構築することが自立への第一歩であると考えます。今回のフットサル体験はそういう意味で満点であったのではないかと喜んでおります。</p>

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
9	影絵劇団 白つめくさ (神戸)	<p>①影絵劇の出前公園ならび体験教室 ②影絵劇の企画・制作・上演。 影絵劇の実体験（鑑賞・人形製作・スクリーン投影）の指導。 影絵人形遊び、影クイズ。 影絵劇制作講座。 ③影絵劇のライブでは、いつも「美しい」「楽しい」「もっと観たい」という反響をたくさんいただきました。体験教室では、いつも子どもたちの瞳がきらきらして楽しそうな様子に、こちらが元気をもらいます。今年度は、コロナ後ということもありますが、事業回数も増え、それだけ知名度も上がり、需要と期待が高まっていると感じられます。</p>  
10	御影 No.1 (神戸)	<p>①No.1 カップ ②小学生ドッジボール大会では、チームでのプレーを通じたチームワークの醸成、仲間との絆・思いやる気持ちを育み、また、体を活発に動かすことで、健康な体を作り、多くのチームとの交流を通して人間関係を築くことで、青少年の健全な育成を目的としています。 当団体は、第32回夏の全国小学生ドッジボール選手権兵庫県大会で優勝したことを契機に、兵庫県における小学生ドッジボールの普及・青少年の育成を目的として、神戸常盤アリーナ（兵庫県立文化体育館）での小学生ドッジボール大会を開催しました。 ③事業においては、兵庫県内のみならず、関西圏及び他地域まで幅広く募集を行い、計24チーム 327名の子どもが参加しました。 ドッジボール大会を開催することで、チームワークの更なる醸成や他チームの選手・監督等との交流が行われたとともに、活発に体を動かす機会が持てました。ドッジボールは、キャプテンだけではなく、選手みんなが思考し、それを実行する必要がある団体競技であり、選手・指導者が真剣に試合に臨むことで、「公正さと規律」を学び、「仲間との絆・相手を思いやる心」を育み、「リーダー養成」にも繋がる良い事業が実施できました。</p> 

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
11	魚住まちづくり協議会 (東播磨)	<p>①みんな de ごはん</p> <p>②献立を考えて参加者を募集する 当日、参加者みんなで調理するグループに分かれて調理する。 出来上がった食事のお皿を用意して盛り付けして、“いただきます”の号令で、みんなでわいわい言いながら食事をする。 食事が終われば食器を洗う人、拭く人、片付ける人、机を拭く人に分かれて片付けをする。最後にみんなで挨拶をして解散する</p> <p>③未就学児から小学生、高校生、保護者、地域の高齢者が一同に同じ場所で食事の準備をして、食べて片付けをするということは今の家族の構成からはなかなかできない経験だと思う。</p> <p>高齢の方から包丁の使い方を子どもが教えてもらったり、高校生に美味しいだしの取り方をお母さんが伝えたりお父さんが子どもたちを連れて片付けを一緒に手伝ってくれたりと老若男女みんなで楽しい時間が共有できた。</p>  
12	兵庫県世界青年友の会 (神戸)	<p>①第40回世界の料理会</p> <p>②身近な「食」(料理)を通じての異文化交流。 参加外国人の国の料理、参加外国人が食べてみたい、作ってみたい日本の料理を、何を作るか話あい、レシピを作成して近くの市場に出かけて材料の買い出し、調理、料理を紹介しあって食べる、片付けるまでを言葉以外でもコミュニケーションをとり、共に作業することで異文化を体験し、理解を促進する。</p> <p>③人々の生活に欠かせない共通の文化である「食」をきっかけに、国籍、言葉、文化の違いを乗り越えて交流する機会を得た。外国人と料理を作るという共同作業で、異文化への興味や関心を持つようになった。子どもたちも違和感なく異文化交流ができました</p>  

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
13	長澤自然育児の会 “わわわ” (淡路)	<p>①” わわわ” わくわく古代人！（仮称）</p> <p>② “わわわ” 『“わわわ” 古代フェス』 事業 毎月の自然育児活動を発展し、古代をテーマに淡路島の歴史を体験するワークショップを開催した。</p> <p>①古代を織ろう！古代織の講師を招き、古代の織物『アンギン編』を体験した。地域のガマの葉を採取、使用して織ることができた。</p> <p>②古代を食べよう！長澤の森でドングリを拾い、粉にしてどんぐりクッキーを作った。親子や地域の親睦を深めることができた。</p> <p>③古代を聴こう！（古代織の展示含む）インド古代音楽奏者がエストラージという楽器を使って演奏会を開催。古代のラーガという旋律を聴き一緒に歌うことができた。また、織る・食べる・聴くを繋げる写真展も開催。</p> <p>③淡路島の山や川から木の実や植物を採取して食べたり、使えるものを作ったりと、古代人の世界を体験することで、食べ物や織物の構造・仕組みを理解し、自分たちの手で生活に役立つものを作ることができるという自信を育むことができた。コロナ禍やIT化の影響により子どもたちが自然に触れ、実体験する機会を求めて淡路島に移住してきた家族に対して、淡路島ならではの自然と調和した教育活動を実施できたことは、子どもたちの健全な育ちに寄与する効果があった。また、最終回には3回を通しての写真展をすることで、アーカイブとしてつながりや広がりを感じることができ、好評だった。</p>
14	スポーツクラブ21氷上東 (丹波)	<p>①第4回生郷まちの灯りフェスティバル</p> <p>②・東小学校鼓笛隊の演奏・バルーンリリース・段ボールハウス、紙袋ランタン、竹ランタン、簡単ランタンなどの灯りをテーマとした作品を飾り、灯りを楽しみます。・段ボールハウス、紙袋ランタン、簡単ランタンづくり教室の開催・灯りで遊ぶブースづくり（宝探しなど）・高校生によるアナウンス</p> <p>③・今回の事業を通して様々な形の灯りをテーマとした工作を作ることができた。</p> <p>・高校生が地域のイベントのアナウンスをすることで、地域のためにできることを見つけることができた。</p> <p>・小学校の鼓笛演奏を楽しみにしている地域の方がイベントに参加してくれることで、多世代のイベントになり、交流もできた。</p>



	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
15	猪名川町子ども会連絡協議会 (阪神北)	<p>①町子連40周年記念事業「小学生ドッジボール大会」</p> <p>②猪名川町内の小学生が、ドッチボールを楽しみ、学年と小学校区を超えて交流することを目的とし、大会を開催した。公式ドッチボールのほか、体育館全体を使った「全員ドッチボール」の種目を盛り込んだ。</p> <p>③学年や小学校区を超えた交流により、仲間づくりの楽しさ、ゲームの勝敗の経験、混合地^無での役割分担による自己有用感、党の効果があつた。高校生、大学生が、準備、運営、審判の体験により、今後の活動に繋がつた。</p>
16	野外自主保育 みあいっ子 (中播磨)	<p>①みあいっ子親子で愉しむ会</p> <p>②ふりいすぺえすももさんから講師を招き、親子の関わり方等をお話し頂き地域の子育てママ、パパ、プレママ、パパとお話会や交流をしたり、クッキング体験を通して日本の文化や風習を学びました。また、外国人アーティストによるクラフト講座、英語講師を招いてのハロウィンパーティー、草木染めの先生に来て頂き、修了記念の作品作りをしました。</p> <p>③自主保育園団体であるみあいっ子にとって何か活動外の事をすると全て自己負担になってしまい、なかなか実現が難しかったのですが、今回じょせいを頂けた事により子ども達により幅広い経験をさせてあげる事が出来、保護者同士も繋がりが深くなり、子育てのコミュニティが作られました。地域の方々にも喜んで頂け、みあいっ子の活動PRにも繋がりました。</p>
17	NPO 法人 たんば子ども若者支援ネットワークえん (丹波)	<p>①フリースクール「FRSC たんば」支援事業</p> <p>②①フリースクール教室での活動のスケジュールは、月・水・金の午後、土曜日の午前と午後。自分の好きなことやしたいことを見つけて遊んだり、学んだりする、いつ、何を、どのように学習するかは子ども達できめる。ボランティアスタッフは子どもが安心していられる居場所にするために、子どもの要望や声を聴き子どもに寄り添って共に活動する</p> <p>②FRSCたんば開設2周年のつどい：干瓢とカボチャに絵をかいてハロウィンのように飾る、ホットサンドとおはぎ作り</p> <p>③フリスク遠足：伊丹市の「昆虫館」まで電車とバスを利用して移動、交通費を持参し、自分で切符を買う。昆虫館はそれぞれで自由に見学し、お弁当は昆陽池公園芝生で食べる。</p> <p>④フリスククリスマス会：クリスマスの飾り付けをする。クリスマスの歌を歌う。折り紙でサンタクロースを折り方教えてもらいながら折る。e ゲーム大会に参加。クリスマスの歌に合わせてプレゼント交換をする。カップラーメン争奪戦ゲームをする。</p> <p>③①学校には行ってはいるが学校になじめなかったり、学習について行けなかったりする子どもが、学校が終わってからフリスク</p>

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
		<p>に来ている。フリスクに来たときは学校と違って元気でいられるので、元気になったら次の日には学校に行けると話してくれた。</p> <p>②フリスク2周年のつどいでフリスクについての子ども感想は、「ここはおばあちゃんの家にいるみたい」と言う。何となくゆったり落ちついて安心できる場所という意味らしい。</p> <p>③フリスク遠足は電車やバスで移動し、子ども達は初めて自分で切符を買った。また家族の付き添いなしで参加した子もいて、いろんな体験ができた。</p> <p>④クリスマス会はクリスマスケーキでなく、ゲームしながら自分の好きなカップラーメンを選んで食べられるのでとても盛りあがった。この日は芦田集学校主催のイベント「eスポーツ体験会」があり、それにも参加できたのが良かったらしく、楽しい時間を過ごした。</p> 
18	NPO 法人 いちごいちえ (神戸)	<p>①子供達の抹茶さろん</p> <p>②初めての子供は、お茶を自分でたてられる様になると大変喜び、作法に積極的になるので、集まった子供達にそれぞれ役割を教え、順次作法を身につける様、集中力をとぐれさせない。高校生は、精神的面を強め、Youtubeも参考にして、作法のもたらす意味も考える様に指導。</p> <p>③作法が進むにつれ自信と自尊心が生まれ、積極性が出てきた。高校生はタイからの訪問学生達に積極的に対応した。作法慰披露や自国文化再確認。</p>
20	ボーイスカウト伊丹第3団 (阪神北)	<p>①「ワクワク自然体験」および「ボーイスカウト一日体験入隊」</p> <p>②①集団生活 ボーイスカウトで行う「開会/閉会セレモニー」の体験 狙いは「ルールとマナー体験」②集団活動 小集団グループに分け、チームワークを活かして野外ゲーム、スキル学習を体験 ③スキル学習 テント設営、野外調理体験、ロープワーク学習などを実施し、野外体験を実施</p> <p>③当日の参加者 (体験者)15名、(付添保護者)28名 ※他にも問合せ、参加申込があるも急用(体調不良等)にて数名欠席あり</p> <p>体験者は幣団スカウト達と「スカウト体験(自然体験)」を行う。 付添保護者は幣団団委員より「ボーイスカウト活動の概念説明」「子育てに関する意見交換」等を行う</p>

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
21	尼崎地区 BBS 会 (阪神南)	<p>①不登校児対象の運動会イベント</p> <p>②小中高校の不登校生+通学に支障のない学生を対象に、学校などでは通常採用され辛く、且つ運動能力が必須ではない競技で構成された運動会を実施する。(例：IT能力を必要とする多次元リレーや、知識量を競うクイズリレーなど) また、競技全体の特色として、エンターテイメント性と協調性を重視し、チームメイトとの協力を通して、学校と比類のない思い出を創出する場を設ける。競技の際は、不登校児の特性について事前に把握したスタッフがチームメイトの一員として参加し、不登校児と非不登校児の相互理解を補助する。</p> <p>③学校では行われない非日常的な体験と、運動能力に自信がなくても参加できるプログラムにより、参加者の子ども達が身体を動かすこと、他者と関わりあうことへの喜びを享受する機会を設けられた。事業内容にて説明の通り、参加者は不登校の子どもである。彼女ら彼らが、イベント参加を通じて自尊心を育み(もしくは回復し)、社会参加への枷を外すことに寄与したといえよう。</p>
22	子育てサークルたんぽぽ (淡路)	<p>①子育てサークルたんぽぽ</p> <p>②親子で一緒に来年の干支(辰)にちなんだクラフトをする。具体的には模造紙に絵を描いたり、ちぎり絵をしたり楽しみました。プロのカメラマンを呼び、親子で一緒に写真撮影をする。いつも使っている場所と違い、広々とした場所で子どもたちが自由に創作したり、走り回って遊んだりのびのびと活動することができました。</p> <p>③ひとりで子育てしながらなかなか体験できないことが実現できたのは、いい機会になりました。今回は募集を大きく募ったおかげで初めて参加される親子が6組もいました。登録すればだれでも参加できるサークルですが、ふだんは母同士の口コミでの新規しかがないので良かったです。親同士の繋がりを持つことができることは子育てにはとても大切なことだと思っているので、今後もサークル活動をきっかけに縁を作っていきたいと思います。カメラマンの方もとても子供に慣れていらっしまったので、みんないい笑顔を記念に残せました。参加者さんからは喜んでもらいました。</p>

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
23	絵本とお歌の会 (阪神南)	<p>①平和を歌うクリスマス会</p> <p>②</p> <p>① 平和のために亡くなった方への黙祷</p> <p>② ウクライナと日本の国歌を歌う</p> <p>③ ウクライナのクリスマスソング「carol of bells」を全員で合奏し音の大小を皆で合わせる＝お互いの存在を感じ合い息を</p> <p>④ 合わせる</p> <p>⑤ ウクライナの話 講師エミリア「戦争は土地だけでなく芸術文化も奪う」</p> <p>⑥ ウクライナのクリスマスソング2曲</p> <p>⑦ ウクライナの話 講師ラリサ「私たちの誰もが平等に大切なひとりの人」</p> <p>⑧ ウクライナ平和の歌「ukraine is you」をひらがな歌詞を見て日本人も歌う</p> <p>⑨ 日本高齢者選曲の歌「なんとなくなくなく」を皆で歌う ウクライナの人も「なんとなく」部分を歌う</p> <p>⑩ 日本小学生選曲の子どもの歌「にじ」を皆で歌う 日本の中学生選曲の世界的平和の歌「heal the world」を皆で歌う</p> <p>⑪ 日本高齢者選曲の歌「切手のない贈り物」を皆で歌う</p> <p>⑫ 皆で生演奏に合わせ 手を繋いで輪になって踊る 向かい合って手を取り踊る</p> <p>⑬ 沖縄戦経験者が描いた絵・ウクライナ戦禍の子どもが描いた絵を鑑賞する</p> <p>団体代表（プロミュージシャン・兵庫県認定音楽療法士）歌とピアノ・講師林氏パーカッションが演奏伴奏する。歌・踊り・話・絵を共有し世代・国籍を越え、平和の当事者となる。差異を理解し、お互いを尊敬し合い、この日を出発にそれぞれが平和活動の担い手になる。</p> <p>③参加者の声</p> <p>日本小学生「私より小さいあの女の子は戦争を見たんやなあ」「戦争の絵がとても怖かった」「ウクライナの女の子にまた会いたい」</p> <p>日本中学生「この活動の手伝いがしたい」「はじめてウクライナの人を見た」</p> <p>親「一緒に歌ったときに平和を感じた」「次世代の子ども達に戦争の恐ろしさを伝えていく。音楽で国境を超えて一つになる楽しさを味わう。」「初対面のウクライナの方ときよこの夜と一緒に歌った時に、音楽は通じると思いました。沖縄の子ども達が描かれた戦争の絵画を観て、小さな子ども達に怖い思いをさせてしまった。戦争の悲惨さを改めて実感しました。」</p>

	事業実施団体 (管轄地方青少年本部)	①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果
25	段上地区青少年愛護協議会 (阪神南)	<p>①秋まつり</p> <p>②オータムコンサート：日ごろの部活動での成果の発表の場とする。バザー：地域への出品の声かけをする。バザーの収益金は、学校備品の購入など子供たちの健全育成のために使う。お楽しみコーナー：参加児童向けにプラパン製作やルービックキューブコーナー、ゲームコーナーを開催する。作業所販売</p> <p>③吹奏楽部生徒たちはステージで発表する機会を得て、日ごろの部活動の成果、達成感を感じられ、今後の活動にも意欲的に取り組み、自尊心を高められた。</p> <p>ボランティア活動を通して、地域住民、PTA 等人の人とのつながりが生まれ、地域活動の土俵が豊かになる。また、安全安心なよりよいコミュニティづくりの推進となる。</p> <p>子どもたちが参加することで、保護者にも地域（青愛協）の活動に興味をもってもらえる。</p> <p>作業所販売を知ってもらうきっかけづくりとなった。</p>
26	ここの TORIO 実行委員会 (但馬)	<p>①ことばと音楽</p> <p>②今回の公演は芸術文化観光専門職大学の尾西ゼミとこの TRIO の共同企画で地域の文化振興を考える企画となりました。尾西先生によるアートマネジメントの講義、同大学助教の小島寛大先生に特別講義をして頂きました。小島先生は京都市を拠点に子どもたちに音楽に参加する喜びを届けるアートプロジェクト「移動おんがく実験室スタジオ☆ムジカ！」を企画・運営されており、子供向け企画について特別講義をして頂きました。その講義を踏まえ、演奏者と学生によって手作り楽器のワークショップと読み聞かせコンサートという形をとりました。間口を広げるためにあえてコンサート感を全面に出さず、「くるみ割り人形」という作品も全面に出さず、音楽や文学に興味がなくても、遊びに来たくなるような公演内容やチラシ、公演中動きたくなる子供にあえて楽器を持たせ、参加型の公演にすることで飽きさせないといった工夫を学生のアイデアにより施した公演になりました。</p> <p>当日はコンサート前に参加者に手作り楽器を作ってもらう時間を設けました。楽器作りと公演がすんなり切り替わるよう、図書館内の別の場所で楽器作りのワークショップを行い、公演前にこの TRIO の演奏を行い、ワークショップ会場から公演会場へスムーズな移行を行いました。公演は子供の集中力が持つよう、30分以内に収めました。学生作の台本により、学生の読み聞かせ、各シーンやバックミュージックや効果音をこの TRIO が演奏し、途中手作り楽器を鳴らして演奏に参加してもらう、といった内容の公演になりました。</p>

<p>事業実施団体 (管轄地方青少年本部)</p>	<p>①事業名 ②事業目的・内容 ③事業成果</p>
	<p>③この度の事業では、豊岡市内の各園、学校に配布依頼したチラシよりたくさんの申込を頂き、期間1週間前には当初の定員予定の30名を超え、100名を超える参加者にのぼりましたため、募集を締め切りさせていただき事態となりました。締切後もたくさん問い合わせをいただき、たくさんの方に興味を持っていただけ大変嬉しく思いました。急遽定員を増員し、申込いただいた皆様に来ていただきました。ただ、インフルエンザの流行により、キャンセルも多く、お子様向け公演を12月に行うリスクも痛感いたしました。結果75名のお客様に来ていただくことができました。大学の尾西ゼミの学生とどうしたら音楽や演劇といった垣根を超えて芸術として小さな子供たちに届けられるか、芸術への間口を広げられるか、という課題を持って企画に取り組むことができました。結果多くのお客様に来ていただけ、また読み聞かせと音楽に大変満足されたというご感想をたくさんいただくことができました。</p> <p>以下アンケートより、</p> <p>子ども達にプロの演奏を聞かせる機会となりよかった、気になる大学の構内にも入れ、学生さん達が楽しそうでまぶしく見えた、大いに豊岡に新しい風を吹かせてもらいたい、少人数で間近に聴けるのがとても良かった、子供は絵本に興味があるので、本に合わせて音楽が聴け、飽きずに座っていた、読み聞かせと音楽会に非常に満足、生の音楽も良かったし、学生さんの読み聞かせも良かった、学生さんの優しい対応が良かった、子どもと一緒に生のクラシックを楽しめて良かった、朗読も上手で引き込まれた、子供は楽器作りや楽器の演奏が楽しかったと満足そうだった、大人は生の演奏にとっても癒された、大学にも初めて入り、本格的な演奏を聞いて嬉しかった</p> <p>等、学生の工夫やねらいがしっかりと伝わった印象のアンケート結果となりました。</p> <p>今後もこの企画をぜひ続け、発展させていきたいと思っております。</p>